

情報学委員会国際サイエンスデータ分科会
(第26期・第5回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和8年1月20日(火) 17:00~19:00

2. 会 場 日本学術会議会議室(遠隔会議システム併用)

3. 委員出欠

出席者 村山泰啓(委員長)、芦野俊宏(副委員長)、近藤康久(幹事)、中村卓司、相澤彰子、有田正規、榎学、永崎研宣、林和弘、藤井良一、宮崎久美子

欠席者 大場みち子、井上純哉

参考人 大武美保子(理化学研究所)

オブザーバー 南山泰之(東京大学)、澁谷遊野(東京大学)、金尾政紀(ROIS-DS)

4. 議事要旨

構成員11名の出席により、定足数を満たしていることを確認した。

(1) CODATA 総会と TG について

大武参考人から資料1-1, 1-2, 1-3に基づいて、CODATA 総会への代表派遣に関する報告があった。続いて、南山オブザーバーから、資料1-4, 1-5に基づいてCODATAの最近の活動状況について報告があった。

(2) 小委員会構成員の追加について

芦野副委員長から資料2に基づいて説明があり、CODATA Executive Committeeメンバーに選出された南山泰之東京大学准教授をCODATA小委員会の委員に追加することを承認した。

(3) CODATA 小委員会の取り組みについて

芦野副委員長から資料3に基づいて報告があった。

(4) WDS 小委員会の取り組みについて

村山委員長より資料4-1に基づいて、WDS小委員会および国際WDSの活動について、日本からネットワークメンバー2組織が新たに承認されたことなどの報告があった。続いて、澁谷オブザーバーから資料4-2に基づいてWDS-ECR(若手研究者ネットワーク)について自身がWDS-ECR co-chairに就任されたことや世界的な若手研究者のデー

タへの取り組みについて報告があった。さらに、金尾オブザーバーから資料 4-3 に基づいて WDS Asia-Oceania Conference 2025 について組織委員会共同議長として概要紹介があり、資料 4-4 に基づいて SciDataCon 2025、資料 4-5 に基づいて WDS-SC 議長 David Castle 氏の ROIS 国際戦略アドバイザー招へいがあったことについて報告があった。

(5) 今後の分科会の活動について

村山委員長より資料 5 に基づいて、本分科会管轄の国際学術団体 CODATA、WDS 対応が日本の学術システムやオープンサイエンス等においても重要であること、また本分科会の機能と今後の展望に関する論点提示があった。宮崎委員から重要な論点であるとコメントがあった。

(6) その他

特になし。

以上